



2019年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年5月13日

福

上場会社名 株式会社Misumi 上場取引所 福
 コード番号 7441 URL <http://kk-misumi.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)岡 恒憲
 問合せ先責任者 (役職名)サポート本部長兼経理部長 (氏名)今田 和孝 (TEL) 099-260-2213
 定時株主総会開催予定日 2019年6月26日 配当支払開始予定日 2019年6月27日
 有価証券報告書提出予定日 2019年6月28日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期の連結業績(2018年4月1日~2019年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	59,801	4.1	1,159	23.1	1,547	17.3	813	9.6
2018年3月期	57,463	11.0	942	△10.0	1,319	△4.4	741	38.9

(注) 包括利益 2019年3月期 426百万円(△50.1%) 2018年3月期 854百万円(△3.6%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年3月期	134.76	—	5.0	4.4	1.9
2018年3月期	122.75	—	4.6	3.8	1.6

(参考) 持分法投資損益 2019年3月期 一百万円 2018年3月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期	35,673	16,697	46.1	2,726.49
2018年3月期	35,378	16,510	46.0	2,692.72

(参考) 自己資本 2019年3月期 16,440百万円 2018年3月期 16,262百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年3月期	1,903	△1,563	199	4,799
2018年3月期	701	△1,343	79	4,259

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年3月期	—	17.00	—	17.00	34.00	205	27.7	1.3
2019年3月期	—	17.00	—	18.00	35.00	211	26.0	1.3
2020年3月期(予想)	—	20.00	—	20.00	40.00		32.2	

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	28,326	△1.2	296	4.2	467	0.6	279	△0.7	46.37
通期	60,847	1.7	1,091	△5.9	1,399	△9.6	750	△7.7	124.41

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
 新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
 ② ①以外の会計方針の変更： 無
 ③ 会計上の見積りの変更： 無
 ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期	6,100,503株	2018年3月期	6,100,503株
② 期末自己株式数	2019年3月期	70,669株	2018年3月期	60,969株
③ 期中平均株式数	2019年3月期	6,035,123株	2018年3月期	6,044,106株

(参考) 個別業績の概要

1. 2019年3月期の個別業績（2018年4月1日～2019年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	57,718	4.2	1,071	29.0	1,462	20.6	780	12.8
2018年3月期	55,390	11.2	830	△13.3	1,212	△6.0	692	40.5
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2019年3月期	129.36		—					
2018年3月期	114.52		—					

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期	34,966	16,225	46.4	2,690.80
2018年3月期	34,629	16,056	46.4	2,658.53

(参考) 自己資本 2019年3月期 16,225百万円 2018年3月期 16,056百万円

2. 2020年3月期の個別業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	27,269	△1.4	445	1.0	280	△1.1	46.49
通期	58,649	1.6	1,314	△10.1	721	△7.5	119.62

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況（1）当期の経営成績の概況」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(表示方法の変更)	13
(セグメント情報)	13
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15
4. 個別財務諸表	16
(1) 貸借対照表	16
(2) 損益計算書	18
(3) 株主資本等変動計算書	19
5. その他	21
(1) 役員の変動	21

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における当社グループの営業基盤である南九州の経済は、生産活動や消費関連は緩やかな回復基調を維持しているものの、人口減少に加え、人材確保難と労働単価の上昇による人件費の増加など、厳しい経営環境にありました。

このような状況の中で当社グループは、主力のエネルギー関連商品の販売シェアの拡大に向け、法人顧客の新規開拓や既存顧客に対する増販活動に注力するとともに、2018年5月からLPガスの集中監視システムの導入を本格的に開始し、業務の効率化とIoT利用による顧客満足度の向上に取り組みました。また、既存店舗の活性化等を目的とした店舗リニューアルを進める一方で、「店舗オペレーションの強化」と「お客様との接点強化」による信頼関係の構築に努めました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は598億1百万円（前期比4.1%増）、経常利益は15億47百万円（前期比17.3%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は8億13百万円（前期比9.6%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

1 エネルギー

「エネルギー」セグメントの石油部門では、「ENEOSカード」等の積極的な発券活動によるユーザーの囲い込みや、法人顧客の新規獲得強化による燃料油の増販及び油外商品の拡販に努めました。一方、採算の悪化していた平之町SS（鹿児島市）を2月末で閉店いたしました。

ガス部門では、訪問活動による新規顧客の開拓やガス関連商品の提案等を実施しお客様との関係強化に取り組むとともに、5月からLPガスの集中監視システムの導入を開始し、業務の効率化とIoT利用による顧客満足度の向上に取り組みました。

発電部門では、鹿児島県内初となる農業用水を利用する発電方式（完全従属式）を採用した田口用水路発電所（鹿児島県霧島市）が完成し、12月から売電を開始いたしました。

以上の結果、原油価格やLPガス輸入価格の上昇に伴い、エネルギー関連商品の販売価格が上昇したことにより、売上高は472億81百万円（前期比4.8%増）となりましたが、収益改善が図れなかったことで、セグメント利益（営業利益）は11億29百万円（前期比2.0%減）となりました。

2 ライフスタイル

「ライフスタイル」セグメントのカルチャー部門では、効率の悪いエリアの商品入替を進めるとともに、店舗内の利便性に配慮した売場レイアウトの変更を実施し、お客様のニーズに合わせた店舗づくりに努めました。また、7月にはブックスミスミ日向店（宮崎県日向市）をKFC日向店と同じ敷地内に新築オープンいたしました。一方、採算の悪化していたメディアミスミTSUTAYA南港店（鹿児島市）を8月末で閉店いたしました。

自動車部門では、出張展示会の開催による集客を図り、新車販売の増販に努めるとともに、タイヤ販売における新規取引先の開拓と売れ筋商品の販売に注力し、収益確保に努めました。

ホームライフ部門では、新築物件の展示会、相談会及びリフォーム物件の相談会を実施することで集客を図るとともに、11月に鹿児島市吉野地区にモデルハウスを建築し、新規受注獲得に努めました。

以上の結果、ホームライフ部門の大型工事の受注減少により、売上高は68億69百万円（前期比2.4%減）となりましたが、前期に発生したオプシミスミの改装費用の影響が今回は無くなったことにより、セグメント利益（営業利益）は1億35百万円（前期比491.32%増）となりました。

3 フード&ビバレッジ

「フード&ビバレッジ」セグメントの外食部門では、主力形態であるKFCにおいて、5月にKFC花ヶ島店（宮崎市）、1月にKFC近見店（熊本市）の改装を実施するとともに、全業態のコスト管理とオペレーション力の強化に努めました。一方、採算の悪化していたKFC新天街店（熊本市）を10月末で閉店いたしました。

ミネラルウォーター部門につきましては、製造工場の設備の老朽化が進み新たな設備投資が必要となり、検討した結果、投資回収が見込めないと判断し、3月末で事業を廃止いたしました。

以上の結果、KFCのキャンペーンが好調だったことにより、売上高は56億50百万円（前期比6.1%増）、セグメント利益（営業利益）は4億82百万円（前期比32.7%増）となりました。

（上記金額には、消費税等は含まれておりません。）

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末に比べて2億94百万円増加し、356億73百万円となりました。これは主に、現金及び預金や有形固定資産が増加したこと等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて1億7百万円増加し、189億76百万円となりました。これは主に、買掛金や借入金等が増加したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて1億87百万円増加し、166億97百万円となりました。これは主に、利益剰余金が増加したこと等によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、固定資産の取得15億17百万円及び法人税等の支払い4億39百万円等の資金の減少がありましたが、税金等調整前当期純利益13億57百万円、減価償却費7億35百万円及び借入金の増加4億53百万円等の資金の増加により、前連結会計年度末に比べ5億39百万円増加し、当連結会計年度末は47億99百万円(前期末比12.7%増)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動による資金の増加額は、19億3百万円(前期比171.5%増)となりました。これは主に、法人税等の支払い4億39百万円及び厚生年金基金解散損失引当金の減少2億67百万円等の資金の減少がありましたが、税金等調整前当期純利益13億57百万円、減価償却費7億35百万円及び売上債権の増加3億91百万円等の資金の増加によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動による資金の減少額は、15億63百万円(前期比16.4%増)となりました。これは主に、固定資産の取得15億17百万円等の資金の減少によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動による資金の増加額は、1億99百万円(前期比149.6%増)となりました。これは主に、配当金の支払い2億5百万円等の資金の減少がありましたが、借入金の増加4億53百万円等の資金の増加によるものであります。

(4) 今後の見通し

今後の見通しについては、石油部門において、1店舗(宮崎県宮崎市)の改装を予定しております。また、KFC部門におきましても、1店舗(宮崎県宮崎市)の移転を予定しております。

通期の連結業績の見通しにつきましては、売上高は608億47百万円、経常利益は13億99百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は7億50百万円を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、現在、日本国内で事業を展開していることから、当面は日本基準に基づき連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際財務報告基準(IFRS)の適用につきましては、今後の事業展開や国内外の動向を踏まえ、検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,074,676	5,615,053
受取手形及び売掛金	5,311,229	4,865,534
商品及び製品	2,442,727	2,628,861
仕掛品	2,802	24,274
原材料及び貯蔵品	34,967	29,299
前払費用	68,261	68,825
その他	483,356	502,158
貸倒引当金	△80,850	△20,309
流動資産合計	13,337,170	13,713,697
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	12,343,498	12,994,784
減価償却累計額	△8,575,117	△8,504,939
建物及び構築物(純額)	3,768,380	4,489,845
機械装置及び運搬具	4,133,659	4,306,442
減価償却累計額	△3,561,982	△3,676,600
機械装置及び運搬具(純額)	571,677	629,841
工具、器具及び備品	2,565,837	2,677,712
減価償却累計額	△2,130,998	△2,191,972
工具、器具及び備品(純額)	434,839	485,740
土地	12,034,438	11,923,043
リース資産	59,508	56,776
減価償却累計額	△25,947	△37,318
リース資産(純額)	33,561	19,458
建設仮勘定	397,225	34,494
有形固定資産合計	17,240,122	17,582,423
無形固定資産		
投資その他の資産	219,923	364,826
投資有価証券	2,563,868	2,035,199
長期貸付金	3,584	13,529
長期前払費用	46,512	31,522
退職給付に係る資産	552,709	505,969
繰延税金資産	17,476	13,640
差入保証金	892,881	890,529
その他	692,407	744,996
貸倒引当金	△187,771	△222,778
投資その他の資産合計	4,581,669	4,012,608
固定資産合計	22,041,715	21,959,858
資産合計	35,378,886	35,673,556

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,797,363	1,908,446
短期借入金	4,160,000	4,505,000
1年内返済予定の長期借入金	2,691,831	2,757,000
リース債務	14,342	13,765
未払金	1,291,684	1,100,571
未払費用	180,190	190,500
未払法人税等	310,489	282,521
未払消費税等	186,709	215,147
賞与引当金	262,820	266,950
厚生年金基金解散損失引当金	267,514	—
その他	224,189	195,469
流動負債合計	11,387,135	11,435,372
固定負債		
長期借入金	5,709,989	5,752,989
リース債務	26,886	13,121
繰延税金負債	193,736	119,770
役員退職慰労引当金	612,300	657,600
資産除去債務	200,256	281,351
その他	738,288	716,002
固定負債合計	7,481,457	7,540,834
負債合計	18,868,592	18,976,206
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,690,899	1,690,899
資本剰余金	1,646,600	1,646,600
利益剰余金	12,187,971	12,795,973
自己株式	△98,498	△117,518
株主資本合計	15,426,973	16,015,954
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	838,559	450,908
退職給付に係る調整累計額	△2,753	△26,556
その他の包括利益累計額合計	835,806	424,352
非支配株主持分	247,514	257,042
純資産合計	16,510,294	16,697,349
負債純資産合計	35,378,886	35,673,556

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
売上高	57,463,459	59,801,325
売上原価	45,896,980	48,024,817
売上総利益	11,566,479	11,776,507
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	392,974	392,608
販売手数料	652,030	694,340
運搬費	222,452	212,519
給料及び手当	2,421,414	2,476,363
雑給	1,943,384	1,939,966
賞与引当金繰入額	251,055	255,922
役員退職慰労引当金繰入額	11,960	45,943
退職給付費用	191,609	133,844
水道光熱費	379,260	386,622
消耗品費	530,289	513,435
賃借料	670,170	682,164
減価償却費	474,761	553,332
その他	2,482,667	2,329,749
販売費及び一般管理費合計	10,624,031	10,616,814
営業利益	942,448	1,159,693
営業外収益		
受取利息	2,792	2,757
受取配当金	66,545	70,081
仕入割引	43,863	60,178
受取賃貸料	113,552	125,742
受取手数料	62,240	61,609
その他	228,966	172,668
営業外収益合計	517,961	493,037
営業外費用		
支払利息	58,599	58,625
売上割引	718	740
賃貸費用	14,778	12,475
固定資産除却損	32,670	16,657
その他	33,694	16,452
営業外費用合計	140,462	104,950
経常利益	1,319,946	1,547,779

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
特別利益		
固定資産売却益	17,351	2,055
投資有価証券売却益	992	—
収用補償金	—	482
特別利益合計	18,343	2,537
特別損失		
固定資産売却損	800	38
減損損失	163,616	192,676
特別損失合計	164,416	192,715
税金等調整前当期純利益	1,173,873	1,357,602
法人税、住民税及び事業税	398,001	411,527
法人税等調整額	1,248	109,935
法人税等合計	399,250	521,462
当期純利益	774,623	836,139
非支配株主に帰属する当期純利益	32,681	22,851
親会社株主に帰属する当期純利益	741,941	813,288

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
当期純利益	774,623	836,139
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△22,452	△387,651
退職給付に係る調整額	102,305	△22,006
その他の包括利益合計	79,852	△409,658
包括利益	854,475	426,481
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	819,493	401,834
非支配株主に係る包括利益	34,982	24,647

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,690,899	1,646,600	11,657,641	△82,150	14,912,991
当期変動額					
連結子会社株式の取得による持分の増減		—			—
剰余金の配当			△211,611		△211,611
親会社株主に帰属する当期純利益			741,941		741,941
自己株式の取得				△16,348	△16,348
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	530,330	△16,348	513,981
当期末残高	1,690,899	1,646,600	12,187,971	△98,498	15,426,973

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	861,012	△102,757	758,254	218,527	15,889,773
当期変動額					
連結子会社株式の取得による持分の増減					—
剰余金の配当					△211,611
親会社株主に帰属する当期純利益					741,941
自己株式の取得					△16,348
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△22,452	100,004	77,551	28,986	106,538
当期変動額合計	△22,452	100,004	77,551	28,986	620,520
当期末残高	838,559	△2,753	835,806	247,514	16,510,294

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,690,899	1,646,600	12,187,971	△98,498	15,426,973
当期変動額					
連結子会社株式の取得による持分の増減		0			0
剰余金の配当			△205,286		△205,286
親会社株主に帰属する当期純利益			813,288		813,288
自己株式の取得				△19,020	△19,020
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	0	608,001	△19,020	588,981
当期末残高	1,690,899	1,646,600	12,795,973	△117,518	16,015,954

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	838,559	△2,753	835,806	247,514	16,510,294
当期変動額					
連結子会社株式の取得による持分の増減					0
剰余金の配当					△205,286
親会社株主に帰属する当期純利益					813,288
自己株式の取得					△19,020
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△387,651	△23,802	△411,453	9,527	△401,926
当期変動額合計	△387,651	△23,802	△411,453	9,527	187,055
当期末残高	450,908	△26,556	424,352	257,042	16,697,349

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,173,873	1,357,602
減価償却費	635,210	735,048
減損損失	163,616	192,676
固定資産除却損	32,670	16,657
のれん償却額	34,586	34,469
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△27,482	△25,533
賞与引当金の増減額 (△は減少)	2,275	4,130
厚生年金基金解散損失引当金の増減額 (△は減少)	—	△267,514
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△183,040	45,300
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△74,808	46,740
受取利息及び受取配当金	△69,338	△72,838
支払利息	58,599	58,625
固定資産売却損益 (△は益)	△16,550	△2,016
投資有価証券売却損益 (△は益)	△992	—
受取保険金	△4,865	△8,989
売上債権の増減額 (△は増加)	△606,326	391,707
たな卸資産の増減額 (△は増加)	10,179	△201,937
仕入債務の増減額 (△は減少)	△308,715	111,082
その他	354,316	△92,059
小計	1,173,208	2,323,151
利息及び配当金の受取額	67,055	70,508
利息の支払額	△58,018	△59,202
保険金の受取額	4,561	8,674
法人税等の支払額	△485,472	△439,259
営業活動によるキャッシュ・フロー	701,334	1,903,872
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△3,200	△1,000
固定資産の取得による支出	△1,468,913	△1,517,625
固定資産の売却による収入	56,451	3,783
投資有価証券の取得による支出	△27,153	△29,103
投資有価証券の売却による収入	1,893	—
差入保証金の差入による支出	△26,430	△22,338
差入保証金の回収による収入	27,568	26,976
貸付けによる支出	△8,000	△14,172
貸付金の回収による収入	10,090	4,227
保険積立金の解約による収入	95,313	—
その他	△1,477	△14,480
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,343,856	△1,563,733

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	350,000	600,000
短期借入金の返済による支出	△670,000	△255,000
長期借入れによる収入	3,566,000	3,200,000
長期借入金の返済による支出	△2,919,574	△3,091,831
リース債務の返済による支出	△12,553	△14,342
自己株式の取得による支出	△16,348	△19,020
配当金の支払額	△211,710	△205,449
非支配株主への配当金の支払額	△5,995	△5,995
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△9,124
財務活動によるキャッシュ・フロー	79,818	199,236
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△562,703	539,375
現金及び現金同等物の期首残高	4,822,679	4,259,976
現金及び現金同等物の期末残高	4,259,976	4,799,351

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」の適用に伴う変更)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)を当連結会計年度の期首から適用し、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示する方法に変更しました。

(セグメント情報等)

1 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社の事業は、事業部を基礎とした製品・サービス別セグメントから構成されており、「エネルギー」、「ライフスタイル」及び「フード&ビバレッジ」の3つを報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの内容

「エネルギー」は、主に石油・ガス関連商品の販売を行っております。「ライフスタイル」は、書籍、自動車、タイヤ及び住宅の販売、複合商業施設の運営等を行っております。「フード&ビバレッジ」は、ケンタッキーフライドチキンの販売等を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	エネルギー	ライフ スタイル	フード& ビバレッジ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	45,100,941	7,034,878	5,327,640	57,463,459	—	57,463,459
セグメント間の内部 売上高又は振替高	23,343	111,901	23,333	158,578	△158,578	—
計	45,124,284	7,146,779	5,350,973	57,622,037	△158,578	57,463,459
セグメント利益	1,151,799	22,976	363,136	1,537,912	△595,463	942,448
セグメント資産	14,416,035	9,860,773	2,576,761	26,853,570	8,525,316	35,378,886
その他の項目						
減価償却費	324,172	178,963	96,994	600,130	35,079	635,210
のれんの償却額	34,586	—	—	34,586	—	34,586
減損損失	59,545	72,834	18,253	150,633	12,983	163,616
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	669,368	668,335	165,842	1,503,546	110,633	1,614,180

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△595,463千円には、セグメント間取引消去4,224千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△599,688千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 - (2) セグメント資産の調整額8,525,316千円には、各報告セグメントに配分していない全社資産8,624,809千円及び固定資産の未実現利益調整額△99,492千円が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない余資運用資産(現金及び預金)、長期投資資金(投資有価証券等)及び事務部門にかかる資産等であります。
 - (3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額110,633千円は、主に事務部門にかかる設備投資額であります。
- 2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整しております。

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	エネルギー	ライフ スタイル	フード& ビバレッジ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	47,281,350	6,869,190	5,650,784	59,801,325	—	59,801,325
セグメント間の内部 売上高又は振替高	24,996	93,635	24,276	142,909	△142,909	—
計	47,306,347	6,962,826	5,675,060	59,944,234	△142,909	59,801,325
セグメント利益	1,129,256	135,864	482,044	1,747,165	△587,471	1,159,693
セグメント資産	14,087,015	10,079,242	2,549,439	26,715,698	8,957,857	35,673,556
その他の項目						
減価償却費	348,014	248,635	111,975	708,625	26,423	735,048
のれんの償却額	34,469	—	—	34,469	—	34,469
減損損失	77,849	87,535	23,451	188,835	3,840	192,676
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	510,177	574,367	97,698	1,182,244	190,958	1,373,203

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△587,471千円には、セグメント間取引消去3,474千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△590,945千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 - (2) セグメント資産の調整額8,957,857千円には、各報告セグメントに配分していない全社資産9,054,113千円及び固定資産の未実現利益調整額△96,256千円が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない余資運用資産(現金及び預金)、長期投資資金(投資有価証券等)及び事務部門にかかる資産等であります。
 - (3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額190,958千円は、主に事務部門にかかる設備投資額であります。
- 2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
1株当たり純資産額	2,692円72銭	2,726円49銭
1株当たり当期純利益	122円75銭	134円76銭

- (注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	741,941	813,288
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	741,941	813,288
普通株式の期中平均株式数(株)	6,044,106	6,035,123

- 3 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度末 (2018年3月31日)	当連結会計年度末 (2019年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	16,510,294	16,697,349
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	247,514	257,042
(うち非支配株主持分(千円))	(247,514)	(257,042)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	16,262,779	16,440,307
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	6,039,534	6,029,834

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 個別財務諸表

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年3月31日)	当事業年度 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,913,021	5,453,097
受取手形	946,214	710,190
売掛金	4,027,153	3,817,801
商品及び製品	2,263,735	2,447,888
仕掛品	2,227	21,642
原材料及び貯蔵品	34,802	29,299
前払費用	65,974	66,343
その他	482,382	503,282
貸倒引当金	△80,841	△20,200
流動資産合計	12,654,669	13,029,344
固定資産		
有形固定資産		
建物	3,199,096	3,562,276
構築物	603,395	959,083
機械及び装置	478,142	521,869
車両運搬具	58,765	69,136
工具、器具及び備品	433,520	484,861
土地	11,958,818	11,847,424
リース資産	33,561	19,458
建設仮勘定	397,225	34,494
有形固定資産合計	17,162,526	17,498,605
無形固定資産		
のれん	90,637	67,776
ソフトウェア	23,465	24,338
ソフトウェア仮勘定	60,500	227,838
その他	43,645	43,198
無形固定資産合計	218,247	363,151
投資その他の資産		
投資有価証券	2,563,783	2,035,114
関係会社株式	115,115	124,239
長期貸付金	3,230	13,410
破産更生債権等	127,600	181,587
長期前払費用	46,512	31,522
前払年金費用	532,969	523,385
差入保証金	885,658	883,306
その他	501,228	500,031
貸倒引当金	△181,565	△216,864
投資その他の資産合計	4,594,533	4,075,734
固定資産合計	21,975,307	21,937,490
資産合計	34,629,977	34,966,835

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年3月31日)	当事業年度 (2019年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,643,887	1,758,387
短期借入金	4,010,000	4,355,000
1年内返済予定の長期借入金	2,685,400	2,750,400
リース債務	14,342	13,765
未払金	1,296,966	1,103,356
未払費用	172,876	184,181
未払法人税等	285,000	269,000
未払消費税等	164,354	194,855
預り金	259,030	262,668
賞与引当金	218,000	221,000
厚生年金基金解散損失引当金	247,306	—
その他	108,864	87,984
流動負債合計	11,106,029	11,200,599
固定負債		
長期借入金	5,687,234	5,736,834
リース債務	26,886	13,121
繰延税金負債	202,727	136,273
役員退職慰労引当金	612,300	657,600
資産除去債務	200,256	281,351
その他	738,238	716,002
固定負債合計	7,467,643	7,541,183
負債合計	18,573,673	18,741,782
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,690,899	1,690,899
資本剰余金		
資本準備金	1,646,341	1,646,341
資本剰余金合計	1,646,341	1,646,341
利益剰余金		
利益準備金	116,139	116,139
その他利益剰余金		
特別償却準備金	39,694	28,694
別途積立金	6,309,403	6,309,403
繰越利益剰余金	5,513,764	6,100,184
利益剰余金合計	11,979,002	12,554,422
自己株式	△98,498	△117,518
株主資本合計	15,217,744	15,774,144
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	838,559	450,908
評価・換算差額等合計	838,559	450,908
純資産合計	16,056,304	16,225,052
負債純資産合計	34,629,977	34,966,835

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
売上高	55,390,182	57,718,849
売上原価	44,360,061	46,441,851
売上総利益	11,030,121	11,276,997
販売費及び一般管理費	10,199,347	10,205,635
営業利益	830,773	1,071,362
営業外収益		
受取利息	3,146	2,749
受取配当金	72,544	76,173
受取賃貸料	123,265	135,312
雑収入	325,308	282,859
営業外収益合計	524,264	497,094
営業外費用		
支払利息	57,991	57,713
賃貸費用	16,114	13,796
雑損失	68,137	34,098
営業外費用合計	142,243	105,608
経常利益	1,212,794	1,462,848
特別利益		
固定資産売却益	16,245	1,612
投資有価証券売却益	992	—
収用補償金	—	482
特別利益合計	17,237	2,095
特別損失		
固定資産売却損	800	38
減損損失	175,569	192,885
特別損失合計	176,369	192,923
税引前当期純利益	1,053,662	1,272,019
法人税、住民税及び事業税	357,880	387,647
法人税等調整額	3,632	103,666
法人税等合計	361,513	491,313
当期純利益	692,148	780,706

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金			利益剰余金 合計
		資本準備金	資本剰余金 合計		その他利益剰余金			
				特別償却 準備金	別途積立金	繰越利益 剰余金		
当期首残高	1,690,899	1,646,341	1,646,341	116,139	50,662	6,309,403	5,022,259	11,498,464
当期変動額								
特別償却準備金の取崩					△10,967		10,967	—
剰余金の配当							△211,611	△211,611
当期純利益							692,148	692,148
自己株式の取得								
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)								
当期変動額合計	—	—	—	—	△10,967	—	491,505	480,537
当期末残高	1,690,899	1,646,341	1,646,341	116,139	39,694	6,309,403	5,513,764	11,979,002

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	△82,150	14,753,555	861,012	861,012	15,614,567
当期変動額					
特別償却準備金の取崩		—			—
剰余金の配当		△211,611			△211,611
当期純利益		692,148			692,148
自己株式の取得	△16,348	△16,348			△16,348
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)			△22,452	△22,452	△22,452
当期変動額合計	△16,348	464,188	△22,452	△22,452	441,736
当期末残高	△98,498	15,217,744	838,559	838,559	16,056,304

当事業年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金			利益剰余金 合計
		資本準備金	資本剰余金 合計		その他利益剰余金			
					特別償却 準備金	別途積立金	繰越利益 剰余金	
当期首残高	1,690,899	1,646,341	1,646,341	116,139	39,694	6,309,403	5,513,764	11,979,002
当期変動額								
特別償却準備金の取崩					△10,999		10,999	—
剰余金の配当							△205,286	△205,286
当期純利益							780,706	780,706
自己株式の取得								
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)								
当期変動額合計	—	—	—	—	△10,999	—	586,419	575,419
当期末残高	1,690,899	1,646,341	1,646,341	116,139	28,694	6,309,403	6,100,184	12,554,422

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	△98,498	15,217,744	838,559	838,559	16,056,304
当期変動額					
特別償却準備金の取崩		—			—
剰余金の配当		△205,286			△205,286
当期純利益		780,706			780,706
自己株式の取得	△19,020	△19,020			△19,020
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)			△387,651	△387,651	△387,651
当期変動額合計	△19,020	556,399	△387,651	△387,651	168,748
当期末残高	△117,518	15,774,144	450,908	450,908	16,225,052

5. その他

(1) 役員の変動

① 代表者の変動

該当事項はありません。

② その他の役員の変動(2019年6月26日付予定)

1. 新任取締役(監査等委員)候補

取締役(監査等委員) 神川 洋一

2. 退任予定取締役(監査等委員)

取締役(監査等委員) 池田 洵

(注) 新任取締役(監査等委員)候補 神川 洋一氏は、社外取締役であります。